

最終保障供給料金の今回ご請求内容（値上がり）および更なる料金の見直しに関するお知らせ

当社は、2022年8月10日に電気最終保障供給約款の変更を経済産業大臣へ届出し、2022年9月1日に料金の見直し^{※1}を実施いたしました。

今回、料金の見直し後初めてのご請求をさせていただきますが、2022年8月31日までのご契約内容と比較してご負担額が増加しておりますので、電気ご使用量のお知らせまたはご請求書にてご確認をお願いいたします。

また、東京電力エナジーパートナー株式会社（以下、東電E P）が2022年9月20日に標準メニューの料金単価および燃料費調整制度の変更（2023年4月1日実施）について公表したことを踏まえ、「電気最終保障供給約款」の料金見直しを進めてまいりました。このたび、具体的な見直しの内容（2023年4月1日実施）がまとまったため、お客さまに早期にお伝えする観点から下記のとおりご案内いたします。

なお、東電E Pは、新たな託送料金制度（レベニューキャップ制度）導入等に伴う当社「託送供給等約款」の見直しを標準メニューの料金単価に反映する更なる見直しを予定しており、具体的な料金単価は改めてお知らせするとしております。当社においても、東電E Pの見直しを踏まえ、「電気最終保障供給約款」の更なる見直しを行う予定であり、その内容は改めてお知らせいたします。

最終保障供給契約を締結されているお客さまにおかれましては、今回ご案内させていただく最終保障供給契約の見直し内容をご確認いただき、今後の電気需給契約の締結先（みなし小売電気事業者・みなし小売電気事業者以外の小売電気事業者）について比較検討いただけますと幸いです。

なお、ご検討にあたっては、電気需給契約の受付をしている旨を当社にお申し出いただいた小売電気事業者の一覧^{※2}を当社ホームページにて掲載しておりますので、ご活用いただきますようお願いいたします。

※1 国の審議会における議論に基づき、2022年9月1日より「電気最終保障供給約款」に定められているお客さまと当社とのご契約内容（料金）を見直し、卸電力取引市場価格を反映することとしております。

掲載先：https://www.meti.go.jp/shingikai/enecho/denryoku_gas/denryoku_gas/pdf/052_03_03.pdf



※2 小売電気事業者の電気需給契約の受付状況は変更となることもございますので、当社ホームページにて随時情報を更新しております。

掲載先：http://www.tepco.co.jp/pg/consignment/lr/pdf/info_kouri.pdf



記

1. 新しい電気最終保障供給約款の実施日（予定）

2023年4月1日

2. 料金単価の見直し

最終保障供給契約の料金単価は東電E Pの標準メニューをもとに設定していることから、下表のとおり電力量料金単価を見直しいたします。基本料金単価の見直しは行いません。

2023年3月31日を跨ぐご使用月の料金は、2023年3月31日までのご使用分には見直し前の料金単価を、2023年4月1日以降のご使用分には見直し後の料金単価を、それぞれ適用して日割計算を行います。

なお、電力量料金単価に基づき算定した金額に、燃料費等調整額を加算・減算したうえで、市場価格調整額を加算・減算したものが電力量料金となります。

料金メニュー				2023年3月31日までの 料金単価(税込)	2023年4月1日からの 料金単価(税込) ※3	
最終保障電力A	基本料金	契約電力1kWごとに	供給電圧	6,000ボルト	2,057円00銭	2,057円00銭
				20,000ボルト	1,991円00銭	1,991円00銭
				60,000ボルト	1,925円00銭	1,925円00銭
	電力量料金	ご使用電力量1kWhごとに	供給電圧	6,000ボルト	(夏季)20円04銭 (その他季)18円67銭	(夏季)26円31銭 (その他季)24円94銭
				20,000ボルト	(夏季)18円11銭 (その他季)16円91銭	(夏季)24円30銭 (その他季)23円10銭
				60,000ボルト	(夏季)17円81銭 (その他季)16円63銭	(夏季)23円99銭 (その他季)22円82銭
最終保障電力B	基本料金	契約電力1kWごとに	供給電圧	6,000ボルト	2,178円00銭	2,178円00銭
				20,000ボルト	1,991円00銭	1,991円00銭
				60,000ボルト	1,925円00銭	1,925円00銭
				140,000ボルト	1,859円00銭	1,859円00銭
	電力量料金	ご使用電力量1kWhごとに	供給電圧	6,000ボルト	(夏季)18円39銭 (その他季)17円17銭	(夏季)24円66銭 (その他季)23円44銭
				20,000ボルト	(夏季)17円42銭 (その他季)16円29銭	(夏季)23円62銭 (その他季)22円49銭
				60,000ボルト	(夏季)17円14銭 (その他季)16円04銭	(夏季)23円32銭 (その他季)22円22銭
				140,000ボルト	(夏季)16円85銭 (その他季)15円77銭	(夏季)23円05銭 (その他季)21円97銭

1kWhあたりの平均市場価格が日本卸電力取引所における取引価格(東京エリアプライス)の2019~2021年度の月間平均値の最低値である4円64銭を下回る場合に、電力量料金から減算する市場価格調整額の算定に用いる市場価格調整単価を以下のとおり見直しいたします。

料金メニュー				2023年3月31日までの 料金単価(税込)	2023年4月1日からの 料金単価(税込) ※3	
市場価格調整単価	最終保障電力A	ご使用電力量1kWhごとに	供給電圧	6,000ボルト	(夏季)2円50銭 (その他季)2円29銭	(夏季)2円50銭 (その他季)2円29銭
				20,000ボルト	(夏季)2円20銭 (その他季)2円01銭	(夏季)2円20銭 (その他季)2円01銭
				60,000ボルト	(夏季)2円16銭 (その他季)1円94銭	(夏季)2円15銭 (その他季)1円94銭
				6,000ボルト	(夏季)2円23銭 (その他季)2円02銭	(夏季)2円23銭 (その他季)2円02銭
				20,000ボルト	(夏季)2円07銭 (その他季)1円89銭	(夏季)2円08銭 (その他季)1円90銭
				60,000ボルト	(夏季)2円04銭 (その他季)1円86銭	(夏季)2円03銭 (その他季)1円85銭
	最終保障電力B	ご使用電力量1kWhごとに	供給電圧	140,000ボルト	(夏季)1円99銭 (その他季)1円81銭	(夏季)2円00銭 (その他季)1円82銭

※3 東電EPが2022年9月20日に公表した標準メニューの料金単価を踏まえたもの。東電EPは当該料金単価の更なる見直しを予定しており、当社においても、東電EPの見直しを踏まえ、改めて見直しを行う予定。

3. 電力量料金の見直しおよび燃料費調整制度の見直し

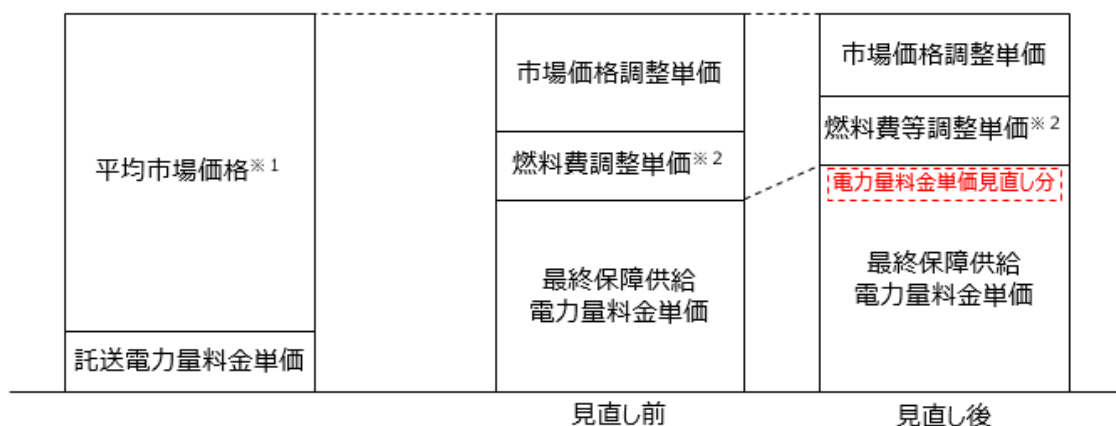
以降に掲載しております「電力量料金の見直しについて」および「燃料費調整制度の見直しについて」をご参照ください。

以上

電力量料金の見直しについて

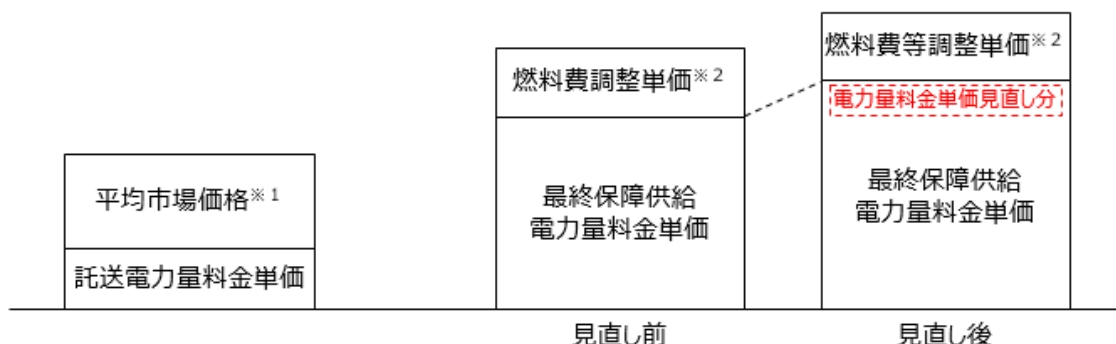
● 【卸電力取引市場価格：高騰時】

- 卸電力取引市場の平均市場価格^{※1}に託送供給等約款における電力量料金単価を加算した金額が電気最終保障供給約款における電力量料金単価（燃料費等調整単価^{※2}を加算・減算した値）を上回る場合は、電気最終保障供給約款における電力量料金単価に市場価格調整単価を加算する
- 電力量料金単価見直し前後で、市場価格調整単価加算後の電力量料金水準は変わらない。**（電力量料金単価が増加した分、市場価格調整単価が減少する）



● 【卸電力取引市場価格：平常時】

- 卸電力取引市場の平均市場価格^{※1}に託送供給等約款における電力量料金単価を加算した金額が電気最終保障供給約款における電力量料金単価（燃料費等調整単価^{※2}を加算・減算した値）以下となり、かつ、平均市場価格が4.64円/kWh（2019年度～2021年度で最も安い期間の平均値）以上の場合、市場価格調整単価が零（ゼロ）となる
- 燃料費等調整単価を加算・減算する前の電力量料金単価は値上げとなる**（実際のご請求金額は、燃料価格等の水準に応じて変動する燃料費等調整単価を加算・減算した後の電力量料金単価に基づき算定されるため、値上げとならない可能性もございます）



● 【卸電力取引市場価格：下落時】

- 卸電力取引市場の平均市場価格^{※1}が4.64円/kWh（2019年度～2021年度で最も安い期間の平均値）を下回る場合は、電気最終保障供給約款における電力量料金単価（燃料費等調整単価^{※2}を加算・減算した値、上記【卸電力取引市場価格：平常時】のパターンにおける見直し後の図に相当）から市場価格調整単価を減算する

※1 平均市場価格＝一般社団法人日本卸電力取引所（JEPX）の運営するスポット市場（卸電力取引市場の1つ）における東京電力パワーグリッド供給区域における1kWhあたりの取引価格（東京エリアプライス）の平均値

※2については、以降に掲載しております「燃料費調整制度の見直しについて」をご参照ください。

(参考：2022年10月分ご請求金額に見直し後料金を適用したと仮定した場合のモデル試算)

下記モデルに基づき試算した場合、【卸電力取引市場価格：高騰時】のパターンに該当し、ご請求金額は見直し前後で変わらない。

	見直し前	見直し後
基本料金	174,845 円	174,845 円
電力量料金	388,014 円	513,414 円
燃料費（等）調整額	156,000 円	97,400 円
市場価格調整額	216,786 円	149,986 円
再生可能エネルギー発電促進賦課金	69,000 円	69,000 円
ご請求金額	1,004,645 円	1,004,645 円

<モデル>

■ 契約種別：最終保障電力A	■ 見直し前の燃料費調整単価： 7.80 円/kWh
■ 供給電圧：6kV	■ 見直し後の燃料費等調整単価： 4.87 円/kWh
■ 契約電力：100kW	■ 市場価格調整単価（夏季）：
■ 使用電力量（夏季）：10,667kWh	見直し前 10.20 円/kWh
■ 使用電力量（その他季）：9,333kWh	見直し後 6.86 円/kWh
■ 力率：100%	■ 市場価格調整単価（その他季）：
■ 毎月の検針日：2日～31日 (計量日1日以外)	見直し前 11.57 円/kWh 見直し後 8.23 円/kWh

<ご留意いただきたい事項>

- ・実際の2022年10月分ご請求金額には見直し後料金は適用されない。
- ・実際のご請求金額は燃料価格、卸電力取引市場価格、契約電力、使用電力量等により変動するため、モデル試算とは一致しない可能性がある。
- ・消費税等相当額を含む。

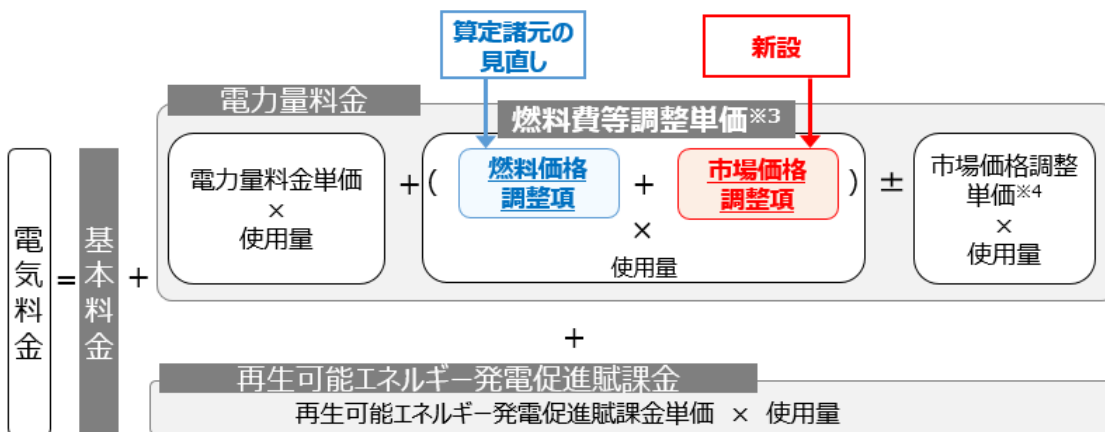
燃料費調整制度の見直しについて

<見直しの概要>

- 現行の当社の電気最終保障供給約款における燃料費調整制度では、東京電力エナジーパートナー（以下、東電E P）の燃料費調整制度をもとに、原油・LNG・石炭の燃料価格の変動に応じて毎月自動的に電気料金を調整しております。このたび、東電E Pでは、燃料費調整制度を見直し、燃料価格の変動を反映することに加えて、新たに平均市場価格の変動も電力量料金に反映するしくみ（燃料費等調整制度）としたことから、電気最終保障供給約款についても東電E Pの燃料費等調整制度に合わせた見直しをいたします。
- なお、2022年9月より最終保障供給契約の料金算定に導入させていただいている市場価格調整単価の算定方法について変更はございません。

<新たに導入する燃料費等調整制度の内容>

- 燃料価格調整項^{※1}については、算定諸元の見直しを行います。（図中青字箇所）
加えて、卸電力取引市場価格^{※2}の変動を電力量料金に反映させるしくみとして、市場価格調整項を新たに導入いたします（図中赤字箇所）。
燃料価格調整項と市場価格調整項を合わせて、燃料費調整制度を燃料費等調整制度に見直します。



- ※1 燃料価格調整項は、従来の燃料費調整単価に該当します。
- ※2 卸電力取引市場価格として参照する価格は、お客さまの需要場所の属する供給区域を基に卸電力取引所が公表したスポット市場価格を用います。ただし、これによりがたい場合は、基準市場価格等にもとづき、東電E Pが決定した値といたします。
- ※3 燃料費等調整単価の単位は、1銭とし、その端数は、小数点以下第1位で四捨五入いたします。また、燃料価格調整項および市場価格調整項は端数処理いたしません。
- ※4 市場価格調整単価は、2022年9月1日の最終保障供給料金の見直しにおいて、新たに導入した卸電力取引市場価格を反映するためのしくみです。

- 市場価格調整項については、毎月の平均市場価格と基準市場価格の差額に、基準市場単価を乗じて算定いたします。

新要素

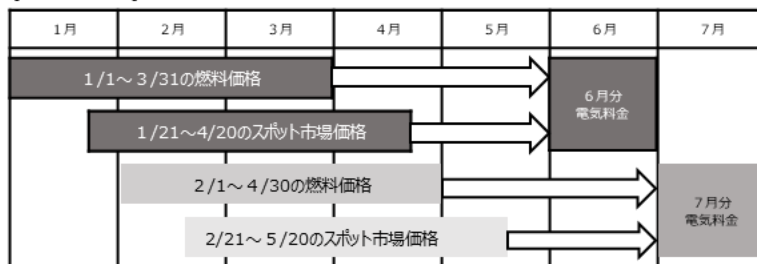
$$\text{市場価格調整項} = \frac{(\text{平均市場価格}^{\text{②}} - \text{基準市場価格}^{\text{①}}) \times \text{基準市場単価}^{\text{③}}}{\text{[毎月変動]} \quad \text{[17円44銭]}}$$

$\text{平均市場価格}^{\text{②}} = \text{XX.XX [円/kWh]} \times 0.6566 + \text{XX.XX [円/kWh]} \times 0.3434$
全日単価 $\delta 1^{\text{④}}$ 昼間単価 $\delta 2^{\text{④}}$
換算係数(全日) 換算係数(昼間)

- ① 基準市場価格：東電E Pが設定した基準となる市場価格
- ② 平均市場価格：算定期間における全日・昼間のスポット市場価格^{※5}の加重平均値
- ③ 基準市場単価：平均市場価格が1円/kWh増減した場合に発生する電力量1kWhあたりの変動額
- ④ 換算係数 $\delta 1$ 、 $\delta 2$ ：東電E Pが設定した全日と昼間の電力量構成比
- ※5 全日のスポット市場価格は、午前0時から翌日午前0時までの単純平均スポット市場価格、昼間のスポット市場価格は、午前8時から午後4時までの単純平均スポット市場価格といたします。

- 各月の燃料費等調整単価は、3カ月間の燃料価格およびスポット市場価格にもとづき算定し、燃料価格は2カ月後、スポット市場価格は約1カ月半後の電気料金に反映します。

(イメージ図)



<燃料価格調整項の算定諸元>

- 以下のとおり、燃料価格調整項の算定諸元を見直すとともに、市場価格調整項の算定諸元をお示しいたします。

		項目	見直し前	見直し後
燃料価格調整項	基準燃料価格		44,200円/kl	64,900円/kl
	基準燃料単価 ^{※6}	高圧	22銭4厘/kWh	15銭0厘/kWh
		特別高圧	22銭1厘/kWh	14銭5厘/kWh
	換算係数	α(原油)	0.1970	0.0033
		β(LNG)	0.4435	0.4001
γ(石炭)		0.2512	0.6241	
市場価格調整項	基準市場価格		-	17円44銭/kWh
	基準市場単価	高圧	-	33銭7厘/kWh
		特別高圧	-	32銭8厘/kWh
	換算係数	δ1 (全日)	-	0.6566
		δ2 (昼間)	-	0.3434

※6 従来の基準単価に該当します